

梅雨前線における鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節効果について

平成19年7月6日から、梅雨前線により鹿野川ダム流域平均総雨量125mm（時間最大31mm）・野村ダム流域平均総雨量134mm（時間最大33mm）の降雨があった。この洪水に対して、鹿野川ダム・野村ダムでは洪水調節を行い下流の水位低下を図った。

平成19年 7月 9日
国土交通省山鳥坂ダム工事事務所
国土交通省野村ダム管理所

問い合わせ先

(鹿野川ダム)

国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所
事業計画課

事業計画課長／片岡 章三（内線331）

計画係長／仲田 隆宏（内線332）

TEL／0893-34-3000

(野村ダム)

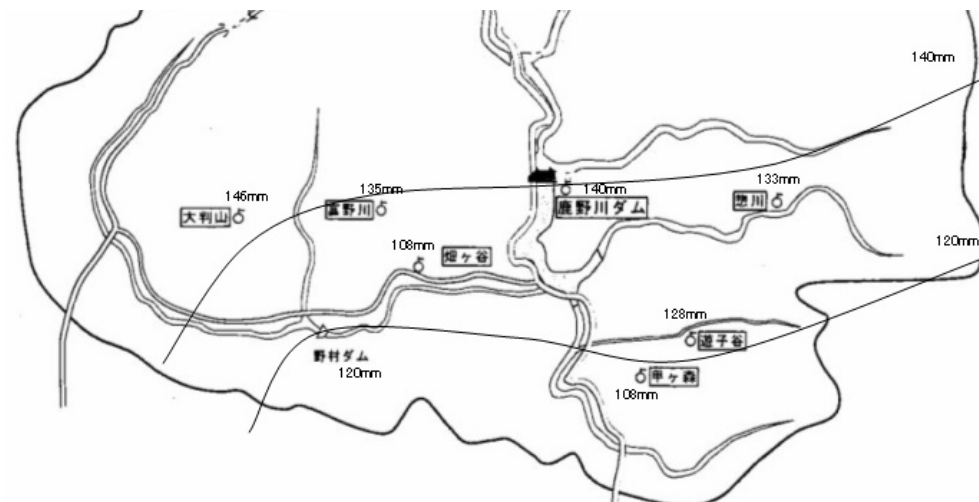
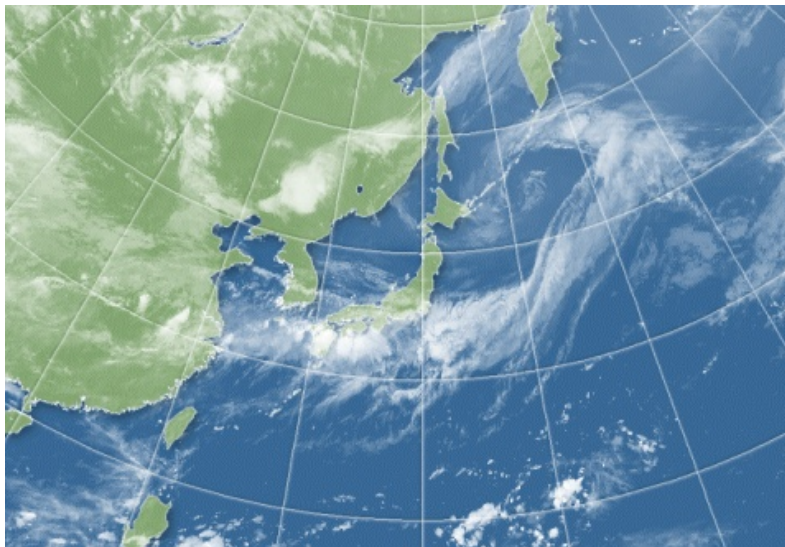
国土交通省 野村ダム管理所

管理所長／佐藤清次郎（内線201）

管理係長／岡田浩孝（内線332）

TEL／0894-72-1211

平成19年7月7日梅雨前線 洪水調節効果



鹿野川ダム流域雨量等高線図

鹿野川ダム流域において、**累計雨量125mm**、6日23時に**時間最大雨量31mm**を記録。

※鹿野川ダム・野村ダムともに7日5時までのデータ

※本資料に関する数値は速報値ですので、精査の結果変更する場合があります。

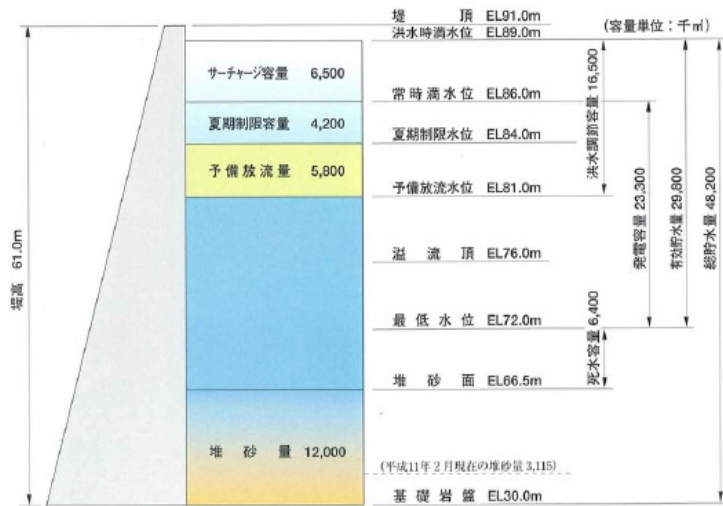
<過去の洪水と比較>

	出水原因	累計雨量(mm)	時間最大雨量(mm)	最大流入量(m ³ /s)	最大放流量(m ³ /s)	調節総量(千m ³)
H19.7.7	梅雨前線	125	31	761	599	867
H17.9.6	台風14号	308	22	2,078	1,887	17,529
H16.8.30	台風16号	223	27	1,985	1,871	17,822
H16.9.29	台風21号	136	31	1,213	596	8,916
H16.10.20	台風23号	205	27	1,813	771	15,509

【鹿野川ダム】

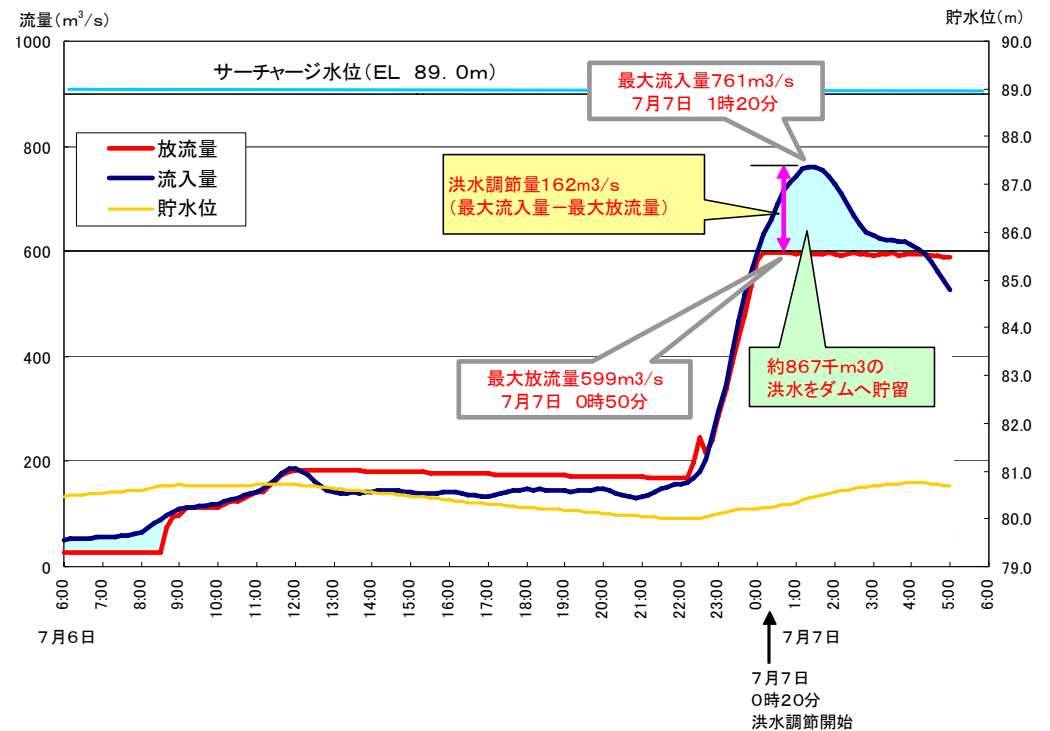
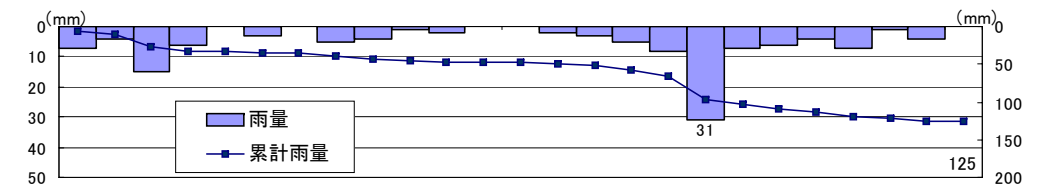
肱川水系肱川において、鹿野川ダムで**162m³/s**(最大流入量**761m³/s**→**放流量599m³/s**)を調節しており、**約867千m³**の洪水を貯留しました。

ダム貯水池容量配分図



- 流入量:ダムへ流れ込む水量
- 放流量:ダムから下流へ流す水量
- 水位:海拔から水面までの高さ
- 利水:水道水、灌漑用水に利用する水
- 利水容量:利水目的の貯水できる容量
※貯水率100%とはこの利水容量に水が100%貯まっている状態
- 洪水調節:下流への放流量を抑える為、ダムに調節量(流入量-放流量)を貯めること
- 洪水調節容量:洪水調節を目的とし、調節量を貯めることのできる容量
- 堆砂容量:上流から水と一緒に流れてくる砂、礫等をためるための容量
- サーチャージ水位:洪水時にダムが洪水調節をして貯める際の最高水位
- 常時満水位:平常時にダムが流入してくる水を貯留する際の最高水位
- 洪水期制限水位:洪水期(一般的に6月~10月)に必要な洪水調節容量を確保するために常時満水位よりも水位を低下させておく際の水位。

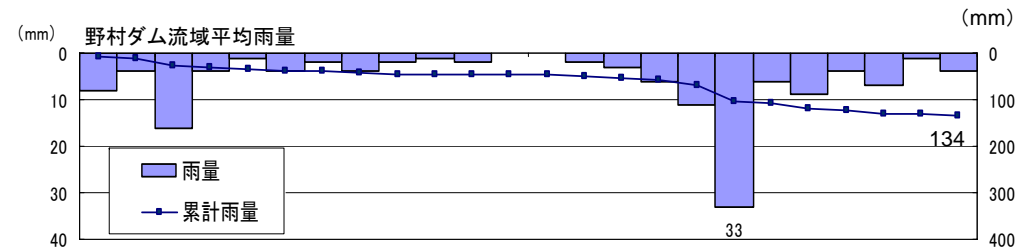
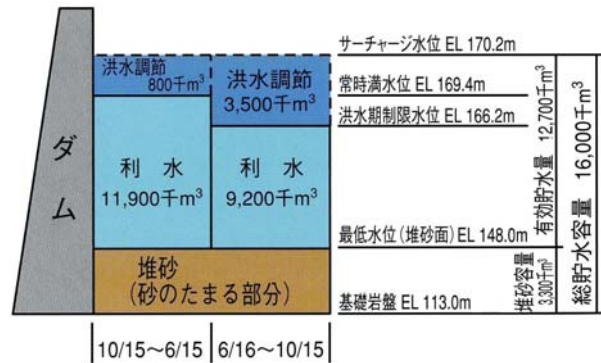
鹿野川ダム流域平均雨量



【野村ダム】

肱川水系肱川において、野村ダムで**13m³/s**(最大流入量**312m³/s**→放流量**299m³/s**)を調節しており、約**47千m³**の洪水を貯留しました。

■ 貯水池容量配分図



- 流入量: ダムへ流れ込む水量
- 放流量: ダムから下流へ流す水量
- 水位: 海拔から水面までの高さ
- 利水: 水道水、灌漑用水に利用する水
- 利水容量: 利水目的の貯水できる容量
※貯水率100%とはこの利水容量に水が 100%貯まっている状態
- 洪水調節: 下流への放流量を抑える為、ダムに調節量(流入量-放流量)を貯めること
- 洪水調節容量: 洪水調節を目的とし、調節量を貯めることのできる容量
- 堆砂容量: 上流から水と一緒に流れてくる砂、礫等をためるための容量
- サーチャージ水位: 洪水時にダムが洪水調節をして貯める際の最高水位
- 常時満水位: 平常時にダムが流入してくる水を貯留する際の最高水位
- 洪水期制限水位: 洪水期(一般的に6月~10月)に必要な洪水調節容量を確保するために常時満水位よりも水位を低下させておく際の水位。

